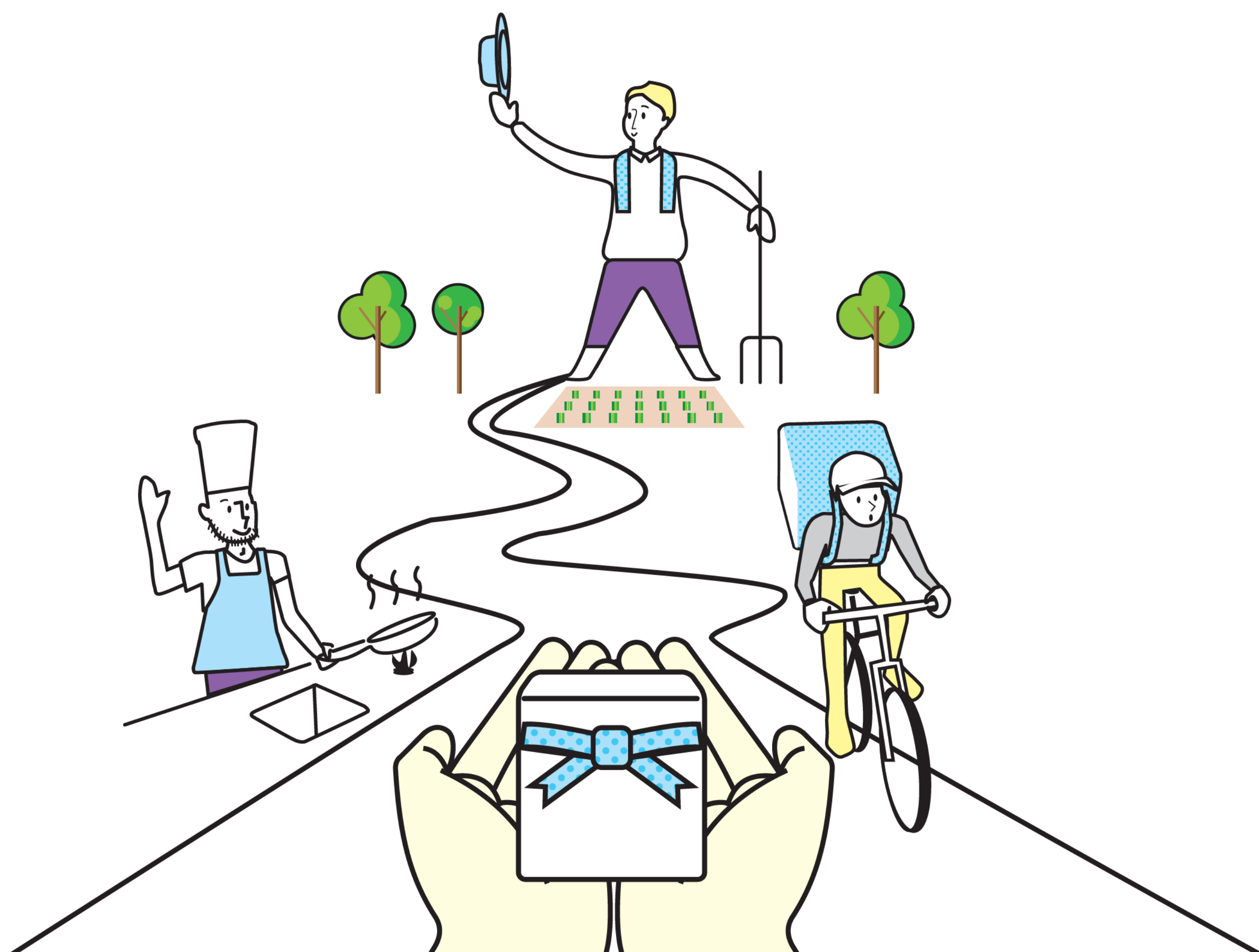


エシカル消費とは？

エシカル[※]消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のことです。

私たち一人一人が、日々のお買物を通して、社会的課題に気づき、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考えてみることで、これが、エシカル消費の第一歩です。

※ エシカル = 倫理的な・道徳的な



人・社会への配慮

おやつの時間に食べるチョコレートや、毎日身につける衣類の材料となるコットン（綿）など、私たちの身の周りにある食品や製品には、原材料が作られ、加工され、私たちの手元に届くまでにたくさんの人が関わっています。原材料の多くを生産する発展途上国には、安い賃金で働いており十分に生活することができず、貧困に苦しむ人たちがいます。その中には、労働者として働き、学校に通えない子どもが多くいるのも事実です。

また、障がい者が働く施設では、日用品などが製作されていますが、まだ多くの皆さんに浸透しているとはいえません。そして、その結果として障がい者の多くが、安い工賃で働いているという実態があります。

商品やサービスの裏に隠されたストーリーに、思いを巡らせてみませんか？

人・社会に配慮された商品を見つけて、選んで購入することで、より多くの人が持続可能な生活を送れるようになります。



- フェアトレード認証商品
- 売上金の一部が寄付につながる商品
- 障がい者支援につながる商品を選択する など

地域への配慮

遠方で生産・製造された食材や商品がインターネットを通じて、いつでもどこでも好きなだけ購入できるネットワークが私たちの生活の中に浸透しています。

一方、私たちの住む日本は、山、森、川、海といった豊かな自然に加え、多様な気候や地形の影響もあり、全国各地でその土地特有の産物が作られたり、様々な地域社会が育まれたりしてきました。

「簡単」、「便利」に購入できることは魅力的ですが、「地域の振興」もお買物では大事な視点の一つです。

地元の本屋さん、電器屋さん、肉屋さんなどでお買物をしてみませんか？

地元の食材を「選ぶ」ことや地元のお店で商品を「買う」ことは、地元を「応援する」ことにつながります。



- 地産地消
- 被災地で作られたものを購入することで被災地を応援する
- 伝統工芸品を購入する など

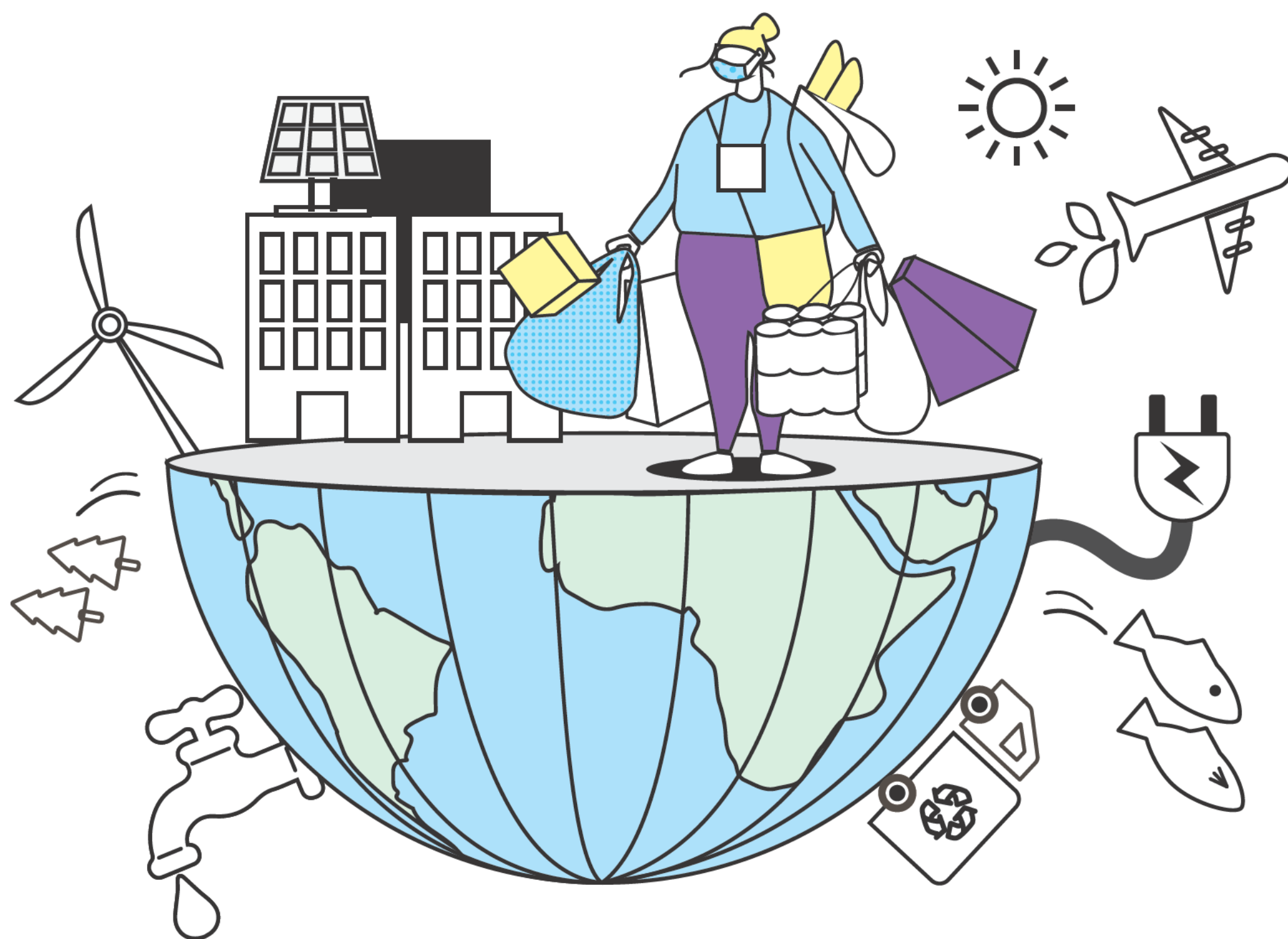
環境への配慮

「地球」というスケールで社会を考えると、私たちが多様な動植物と共存していることや多くのエネルギー資源、原材料、食料品などを海外から輸入していることに気付かされます。

大量生産・大量消費・大量廃棄の暮らしによって、地球温暖化や海洋汚染などが発生し、生態系が破壊され、エネルギー資源が減少し、異常気象による農作物への被害などが深刻化しています。

日々の暮らしの中で、「もったいない」と思うことは何ですか？

地球環境の現状や問題を「自分には関係ない遠い話」と見過ごすのではなく、より良い未来に向かって、一步を踏み出しましょう。



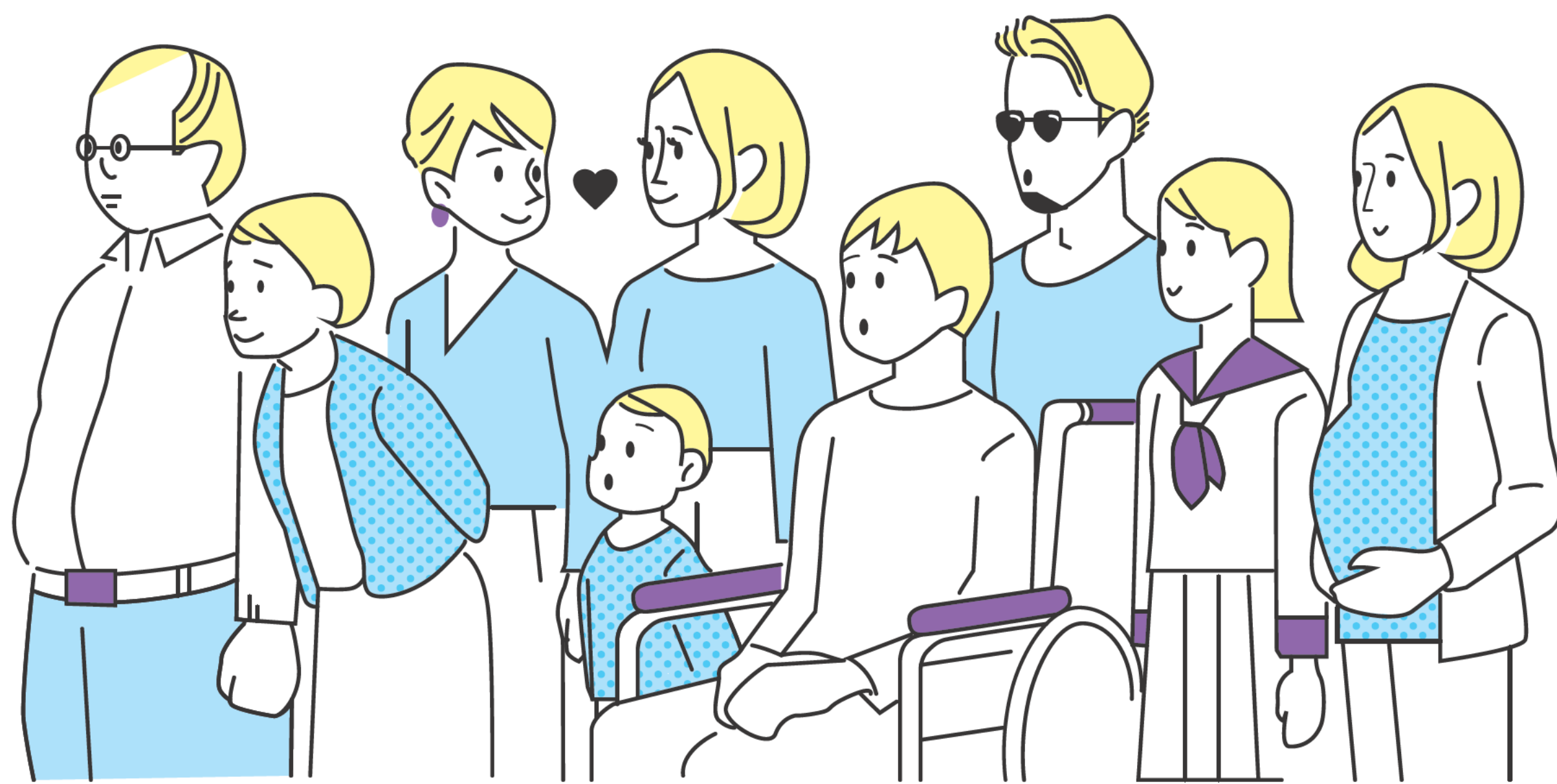
- エコ商品を選ぶ
- お買物のときにレジ袋の代わりにマイバッグを使う
- 資源保護の認証がある商品やCO2(二酸化炭素)削減の工夫をしている商品を購入する
- マイボトルを利用する
- 食品ロス*を減らす *まだ食べられるのに廃棄される食品のこと
- 電球を省エネLEDに交換する • 地域のルールに沿ったゴミの分別を徹底する など

みんなで支え合う社会へ

エシカル消費は「社会が豊かなときに、お金に余裕がある人が実践するもの」ではありません。

一人一人が、思いやりを持った消費行動を心掛けて、商品が届くまでの背景や廃棄された後の影響を考え、そこにある課題を知り、その解決につながるようなモノやサービスを利用することが、次の世代へバトンをつないでいく私たちの役割です。

消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、
世界の未来を変えるために、今から行動しましょう！



- 買いため、買占めをしない
- 必要なものを必要な分だけ購入する
- 今のことだけを考えず、未来への影響を考える
- 海外で問題となっている社会的課題に目を向ける
- 自分のことだけを考えず、相手のことを考えて行動する
- ユニバーサルデザイン
- ダイバーシティ（多様性の尊重等） など